

株式会社どすこい
 児童発達支援・放課後等デイサービス 支援プログラム
 B-1 鉄道教室

- 「一人一人にそれぞれのフツウ」
- 自分で感じ・考え・選び・決める・行動する
- 視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
開催告知 見通しを立てる	★スタッフは、「巻物カレンダー」に開催予定を記入。チラシを関連付けて掲示し、口頭でも告知する。→ ■1ヶ月後、1週間後、3日後、明日といった「行動の見通し」を立てる。		■巻物カレンダーで、折々、開催日を確認し、■「あと何日か」言葉で他者に伝える。■鉄道教室が楽しかったことを思い出す。■次の鉄道教室をイメージする。■鉄道教室への思いを言葉にして他者に伝える。■みんなの思いにも耳を傾ける。■個別の予定の確認から「みんなと当日を楽しみに待つ」に広がることを目指す。			■翌月の利用申込書に鉄道教室の開催日を掲載・SNS・送迎時口頭など、ご家族に事前に開催日を伝える。■当日、一緒に鉄道教室を楽しんでいただく。	■ご近所様に鉄道教室の開催日を伝え、当日一緒に鉄道教室を楽しんでいた
当日準備のためのミーティング	★スタッフは、アシスタントとして準備に集まった子どもたちに「時計枠付き1日の予定表」を提示→■当日の予定を確認し、見通しを立てる。		■「16時開演であれば、何時何分にみんなに会場に集合してもらうのか」といった流れをイメージする。■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。■みんなで相談し、調整しながら、■タイムテーブルを決定し記録する。				
会場設営	■タイムテーブルを確認しながら、■プレイルームの壁に鉄道の写真を貼る。■机椅子を配置する。	■テープを切る・丸める・貼る。■机・椅子を持ち上げ・移動させ・置く。	■どの写真をどこに掲示するのか考える。■また、会場の机椅子の配置について考える。■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。■みんなで相談し、調整しながら決定し、■会場設営を行う。				
声掛け・呼び込み	■タイムテーブルで確認し、お客さんに入場してもらう。		■呼び込みに適した言葉を考える。■自分の考えを言葉にしてみんなに伝える。■他者の言葉にも耳を傾ける。■上手いかなければ修正する。■みんなと相談する。■困ったら助けを求め、■助けを求められたら応じる。				
鉄道教室① 鉄道を知る	■スタッフが話す鉄道の内容を理解して、生活スキルを上げる。		■スタッフが話す鉄道の内容を理解して、情報量を増やす。■自分が知っている鉄道についてみんなに話す。■他者の話にも耳を傾ける。■分からないことは質問する。■質問に応える				
鉄道教室② 駅名当てクイズ 路線図・地図を見る	■路線図や地図を見て、自分の家や今いる場所を知る。		■駅名当てクイズを手掛かりに、路線図上の駅が、地図のどこにあるかを考える。	■駅名に使われている漢字について学ぶ。読み方・書き方・意味を知る。			
鉄道教室③ アシスタントによるクイズ出題			■クイズの内容を考える。■出題の際に適切な言葉・態度・服装を考え、■みんなの前で出題する。■お客さんが答えに弱したとき、適切なヒントを考え、伝える。				
鉄道教室④ 次のテーマを決める	■次回の日程を巻物カレンダーに記入する。		■自分が、鉄道について次回知りたいことを考える。■自分の考えを言葉にして他者に伝える。■みんなの考えにも耳を傾ける。■みんなで相談し、調整しながらテーマを絞り込み、決定する。				

片付け		<p>■掲示物を外す。■テープを剥がしてゴミ箱に入れる。■机椅子を綺麗にして元の場所に戻す。</p>	<p>■スタッフから借りたものは、スタッフに確認してもらい、所定の場所に収める。■困ったら助けを求める。■助けを求められたら応じる。■返却したらスタッフにお礼をいう。</p>		
スタッフ・アシスタントによる振り返り			<p>■今日の鉄道教室を思い出し、どんなことをしたか、どんな気持ちだったかを辿る。■感じたこと考えたことを言葉にしてみんなに伝える。■みんなの言葉に耳を傾ける。■困ったこと、上手くいったことを「運営ノート」に記録する。</p>		